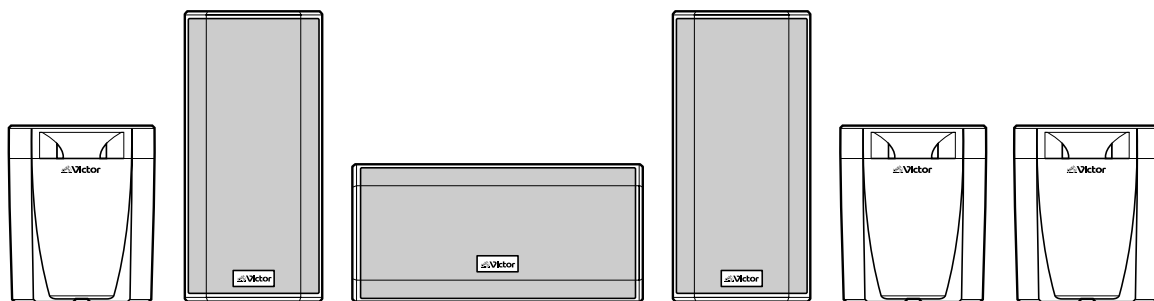
取扱説明書

サテライトスピーカーシステム

型名 **SP-XF10**

Satellite Speaker System
SP-XF10

目　次

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 2 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1166-003B

安全上のご注意 ―はじめにお読みください―

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

●この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると､「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

●この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると､「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

■接続したアンプなどに、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。火災や感電の原因となります。

電源プラグを抜く

･煙が出ている、変なにおいがするなど異常のとき
･内部に水や金属物が入ってしまったとき
･落としたり､キャビネットが破損したとき
･電源コードが傷んだとき
（芯線の露出､断線など）
このようなときは､すぐに電源を切り､電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください｡お客様ご自身が修理することは危険です｡絶対にやめてください｡

■ネジをはずしたり､分解､改造したりしない

分解禁止

・内部の点検や修理などは､販売店にご依頼ください｡

■スピーカーは定格入力を超えるアンプに接続しない

・スピーカーの定格入力や定格インピーダンスに不適合のアンプで使用すると､火災､感電の原因となります｡ご使用の際は取扱説明書をよくお読みください｡不明な点がありましたら､販売店やサービス窓口にご相談ください｡

■本機の包装に使用しているポリ袋は､小さなお子様の手の届くところに置かない

・頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

■不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■スピーカーに乗ったり､ぶらさがったりしない

・特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして､けがの原因となることがあります。

■接続するときはアンプの電源を切る

・スピーカーをアンプに接続する際はアンプの電源を必ず切ってください。電源が入った状態でコードをショートさせると､アンプが故障したり、火災、感電の原因となることがあります。

■はじめから音量を上げすぎない

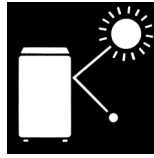
・アンプの電源を入れる前に、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て､スピーカーを破損したり聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間､音が歪んだ状態で使用しない

・スピーカーが発熱し､火災の原因となることがあります。

ご使用の前に

■設置上の注意

・キャビネットの変形・変色を防止するため、直射日光や湿気の多い所、冷暖房器の近くなどを避けて設置してください。

・スピーカーの振動でハウリングを起こすことがあります。できるだけレコードプレーヤーから離してください。

・本機はカラーテレビに対して色むらを起こさないように防磁処理をしたスピーカーですが、設置方法によっては色むらが生じる場合もありますので、設置の際は次の点に注意してください。

1. 本機と一緒にテレビを使用する場合は、必ずテレビの主電源スイッチを切った状態で設置してください。
   なお、テレビの主電源スイッチは、切ってから少なくとも30分後に入れるようにしてください。
2. テレビの種類によっては、色むらを生じることがあります。色むらを生じるときは、十分離して設置してください。

・AVアンプなどでスピーカーの設定ができるときは、以下の設定にすることをお勧めします。

- **スピーカーサイズ　：スモール**
- **クロスオーバー周波数　：100Hz～150Hz**

■壁や柱などに掛けるときのご注意

・本機を壁や、柱などに設置するときは、設置する壁や、柱の強度を十分お確かめください。強度が弱い壁や柱などに設置すると、本機が落ちて、けがや故障の原因になります。もしわからない場合は、工務店などの専門業者にご相談ください。

■お手入れについて

・スピーカーシステムの汚れは柔らかい布（ネルなど）で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤でふき取り、乾いた布で仕上げてください。(ご使用の中性洗剤については、その注意書きにしたがってください)

・スピーカーの表面をベンジン、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。

よい音で聞くためには

■スピーカーシステム設置の配慮

・スピーカーシステムの再生音はリスニングルームの条件によって微妙に影響を受けやすいものです。
設置時には、側面の壁から50cm程度離すことを、おすすめします。
これは本機をご使用になるリスニングルームの諸条件により変化しますので、上記を目安とし、音場が拡がり、音像がはっきりと定位する位置に設置することをおすすめします。

■音場の改善

・反射または共振を起こしやすい洋間では、厚手のカーテンやジュータンなどをお使いください。
また、スピーカーの正面（向かい側）が固い壁やガラス戸などの場合には、反射や定在波の発生を防ぐ目的で厚手のカーテンなどで吸音処理することをおすすめします。

■ステレオを聞くときのエチケット

・ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

準　備

■付属品の確認

ご使用になる前に本機の付属品をご確認ください。不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

・スピーカーコード 4 m(フロント／センター用) 3本
・スピーカーコード 10 m
（サラウンド／サウンドバック用） 3本

・この製品には付属品の他に、取扱説明書（本書）、保証書が添付されています。

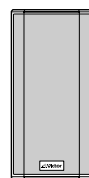
■スピーカーの種類

・フロント スピーカー(2本)

SP-XF10F

・センター スピーカー(1本)

SP-XF10C

・サラウンド／サラウンドバック スピーカー(3本)

SP-XF10S

接　続

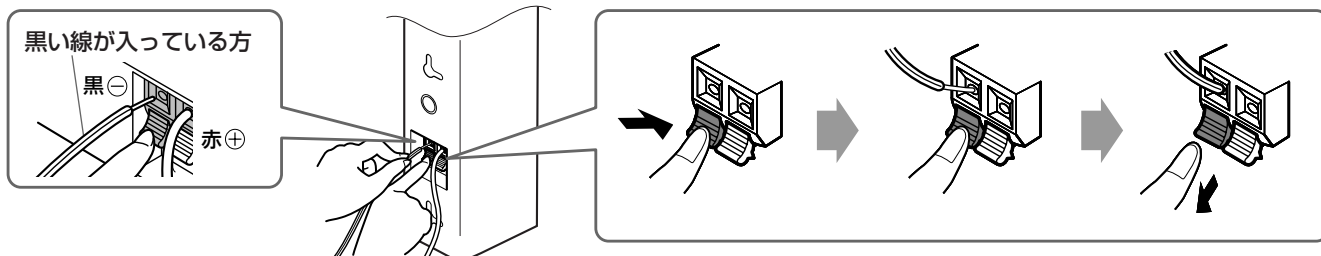
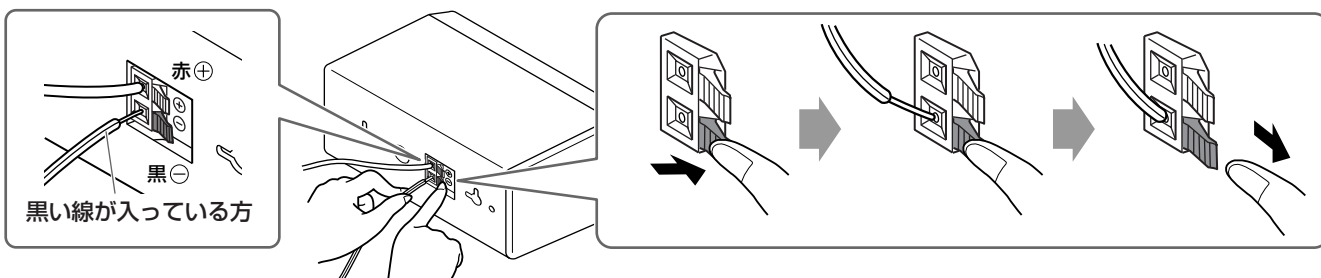
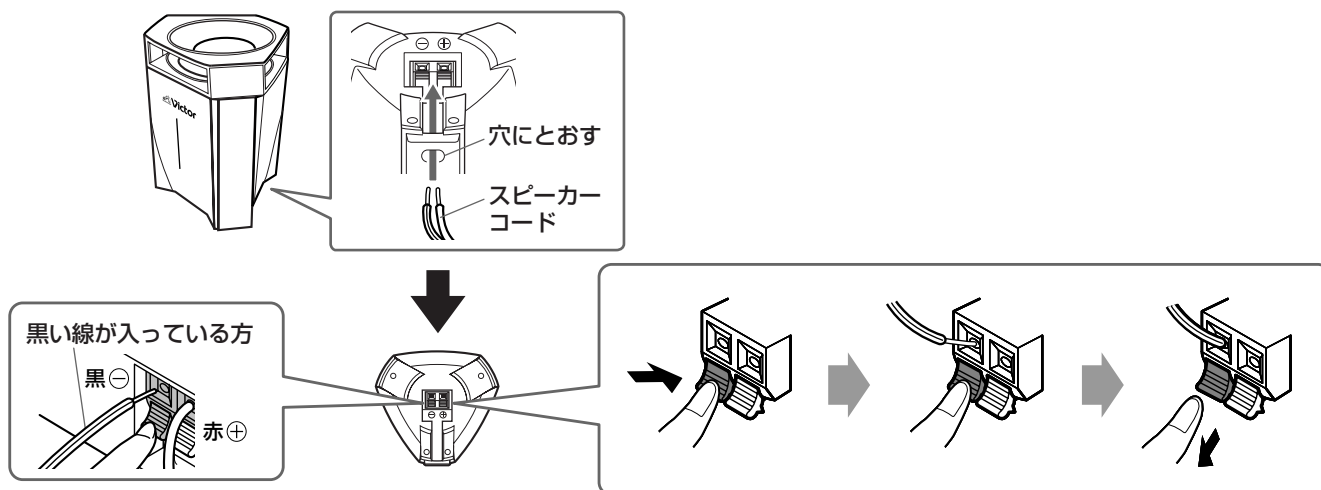
■接続のまえに

1.スピーカーシステムをアンプに接続するときは、アンプ側の電源を必ず切ってください。電源が入った状態でスピーカーコードをショートさせますと、アンプを故障させる恐れがあります。
2.本機の定格インピーダンスは6 Ωです。
負荷インピーダンス6 Ωが接続できるアンプをご使用ください。
3.本機の最大入力（JIS）は100 Wです。
これはミュージック・ソースを短時間入力できる値（実効値）で、スピーカーを破壊しない値です。

■接続のしかた

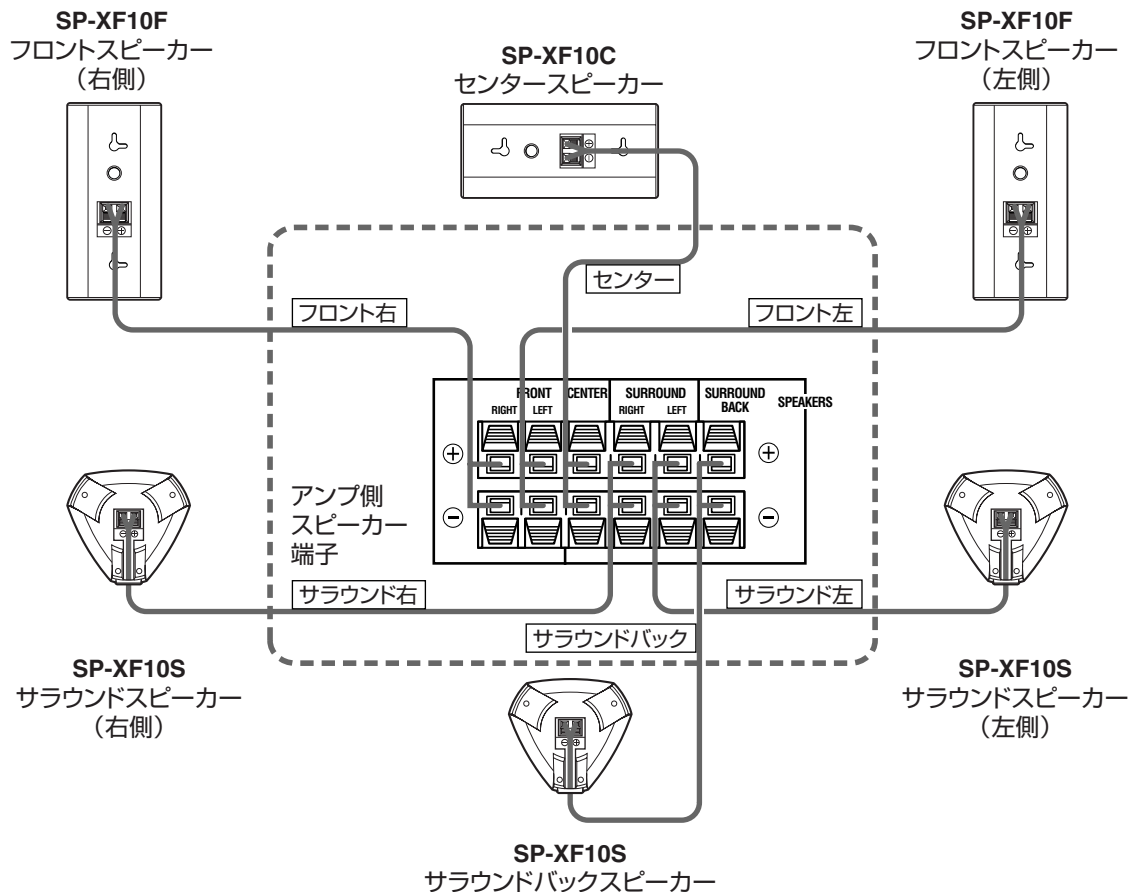
・フロント、センタースピーカーには4 m、サラウンドスピーカーには10 mの付属スピーカーコードをご使用ください。
・下図をご参照のうえ、本機の入力端子とアンプの“スピーカー”端子をスピーカーコードで接続してください。
付属のスピーカーコードの先端にビニールがついているときは、ねじりながら抜き取ります。

スピーカーコードの先端を、端子レバーを押したまま穴に差し込みます。
・芯線は奥までしっかり差し込んでください。
・スピーカーコードは黒い線の入っている方を ⊖ 側に接続してください。

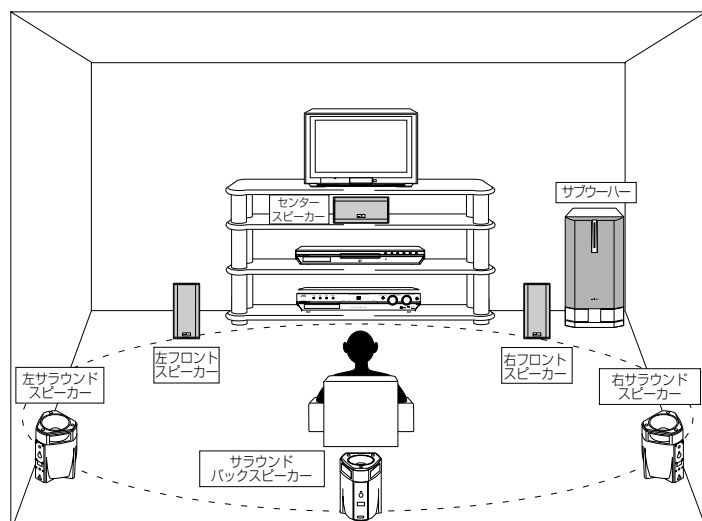
フロントスピーカー

センタースピーカー

サラウンド／サラウンドバックスピーカー

注意

接続の際、スピーカーコードの極性(⊕、⊖)を間違えると、音場感や音質がそこなわれますので、ご注意ください。
接続したあと、コードが確実に接続されていることを確認してください。

■アンプとの一般的な接続例

・アンプと接続する際は（⊕、⊖）の極性をよく確かめてください。
・一般にはミュージック・ソースを入力した場合、アンプのボリュームが半分以上になりますと、アンプの出力歪み（音が割れる）が増加して、スピーカーを熱的、機械的に破損させる恐れがありますので、これ以下のボリューム位置でご使用ください。

設　置

■一般的な設置例

センタースピーカーをテレビなどの正面に置きます。
（センタースピーカーをテレビの上に置くときは、平らで安定した状態にあることをご確認ください。）

・本機と組み合わせるサブウーハーにつきましては、当社SP-DW103をお勧めいたします。SP-DW103との組み合わせにより、臨場感あふれるダイナミックな高音質をお楽しみいただけます。

入力ソースについて

■ CD／DVDなどのデジタル系ソースを再生する場合

レコードにはスクラッチノイズが、カセットテープにはテープヒスノイズがありますが、デジタル系ソースではノイズがほとんどなく無音から急に音楽信号が入ってきます。また、ダイナミックレンジが広く急激に音が立ち上がりますので、スピーカーに過大入力が加わらないようアンプのボリュームに注意してご使用ください。

■特殊な入力信号の場合

本機に次のような特殊信号が加えられると、過大電流による焼損断線事故の原因となることがありますので、十分注意してご使用ください。

① FMチューナー選局時の大きな局間ノイズ。
② アンプやチューナーなどの “オン”、“オフ” 時のショック音。
③ 接続端子の抜き差し時のショック音。
④ カートリッジ交換時のショック音。
⑤ 発振器や電子楽器などによる連続的な高い周波数成分の音。
⑥ マイク使用時に起こりやすいハウリングの音または発振音。
⑦ 引き回したスピーカーコードによるアンプの高域発振出力。

仕　様

SP-XF10F（フロントスピーカー）
SP-XF10C（センタースピーカー）

種類	：1ウエイ2スピーカー バスレフ型／防磁形（JEITA）
使用スピーカー	：6 cm（コーンスピーカー× 2）
定格入力（JIS）	：25 W
最大入力（JIS）	：100 W
定格インピーダンス	：6 Ω
再生周波数帯域	：80 Hz ～ 20 kHz
出力音圧レベル	：
SP-XF10F	79 dB/W・m
SP-XF10C	80 dB/W・m
最大外形寸法	：
SP-XF10F	幅84 mm×高さ211 mm×奥行88 mm
SP-XF10C	幅209 mm×高さ85 mm×奥行92 mm
質量	：0.8 kg

SP-XF10S（サラウンド／サラウンドバックスピーカー）

種類	：1ウエイ バスレフ型／防磁形（JEITA）
使用スピーカー	：8cm（コーンスピーカー）
定格入力（JIS）	：25 W
最大入力（JIS）	：100 W
定格インピーダンス	：6 Ω
再生周波数帯域	：80 Hz ～ 20 kHz
出力音圧レベル	：75 dB/W・m
最大外形寸法	：幅111.5 mm×高さ139 mm×奥行106.5 mm
質量	：0.52 kg

JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

（注）本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
	土浦 S.S.	(029) 821-8756	土浦市富士崎1-10-1
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 246-2588	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03) 3251-2128	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 3874-5231	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下条2-1366-1
	上越 S.S.	(025) 545-1734	上越市五智1-11-2
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝町ビル101号
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.C.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.C.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	山陰ビクター販売（株）松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株）鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0504

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

ご転居等、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、7ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	スピーカーシステム
型　　名	SP-XF10
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　ー

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

7 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120−2828−17**
携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (03) 5684−9311
FAX (03) 5684−9317
〒113-0033　東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0504NSMSANHCE